

佳作

## だいききないもうとへ

千葉県  
千葉市立幸町第一小学校一年

たかやなぎ ゆうか

わたしが、ぐんまけんのおばあちゃんので、夕はんをたべているとき、いもうとからでんわが、かかつてきました。

「おねえちゃん、あいたいよ。」

わたしはそのこえをきいて、なみだがボロボロおちてきて、

「みか、手じゅつ、うまくいつてよかったね。」

と、ことばにならないこえで、なんともいいました。

いもうとは、でんわをかけてくる三日まえに、しんぞうの手じゅつをしました。しんぞうに2つのあながあいていたからです。

びょういんのせんせいは、あなのばしよによつては、手じゅつがつづけられなくなったり、こわいがつべいししょうをおこしてしまいかもしれないとはなしをしていました。

手じゅつがおわつてからも、いもうとは、ねつをだしたり、からだをうごかしてはいけないので、ベッドにぜんしんをしはられ、大へんだったそうです。おかあさんは、いもうとが入いんしてまい日、あさ早くから、よるおそくまで、つきそいをしていました。いもうとのびょうとうは、12さいい下の子どもは、入れないので、わたしは、おとうさんやおかあさんやいもうとと、はなれるのは、かなしいけれど、ぐんまけんのおじいちゃん、おばあちゃんのおうちへいきました。

いもうとが入いんするまえは、わたしがともだちとやく

そくをして、こうえんにあそびにいくときも、

「みかもいく」

といつて、いつもわたしのまねばかりしてついできたり、ときどきケンカもしたけれど、はなればなれになつて、すこくさみしくて、すぐにでもあいたくなりしました。そんなときに、いもうとのでんわのこえをきいて、かなしいきもちから、うれしいきもちに変わりました。

いもうとのしんぞうには金ぞくが、うめてあります。それをしようめいするカードがあります。わたしは、このカードは、いもうとの、がんばつたあかしだとおもいます。

手じゅつでは、一つのあなは、とじることができたけれど、もう一つのあなは、ぜんぶふさぐことができなかったそうです。でも、いもうとは、とてもげんきです。2か月は、うんどうができませんが、いつしよに、おりがみをおつたり、あやとりをしたり、本をよんだりすることができません。

いもうとの手じゅつので、かなしいおもいましたけれど、かぞく四人でいられることがしあわせなことを、いもうとが、おしえてくれたとおもいます。

「みか、たいせつなことをおしえてくれてありがとう。みか、だいききだよ。あしたも本をよんであげるね。」